

1 日時場所 令和 2 年 2 月 21 日（金）13 時 30 分開会
南魚沼市民会館 2F 実習室

2 出席者

委員：岡村秀康教育長、西野仁委員、角谷正雄委員、須藤文子委員、川島亜紀子委員

事務局：平賀教育部長、山崎学校教育課長、滝沢社会教育課長、西潟生涯スポーツ課長、阿部子ども・若者育成支援センター長、山崎図書センター長、笛木管理指導主事、田中管理指導主事、佐藤庶務主幹、貝瀬施設主幹、学校庶務班青木

3 議題

日程第 1 **会議録署名委員の指名について**

西野仁委員、須藤文子委員

日程第 2 **教育長及び事務局諸報告**

（教育長） 日程 2 ページ、教育長及び事務局諸報告のとおり。

日程第 3 **管理指導主事等からの報告**

（笛木管理） 小学校関係について、現状で大きな問題はない。冬の初めにインフルエンザの流行があったが、今現在報告はない。少雪の影響により、スキー授業が出来なかったが、2 月に入ってから降雪により、塩沢地区ではクロスカントリースキーが出来るようになった。アルペンスキーについても、授業の回数は減らしたがある程度開催できた。今年度も後 1 か月となったが、気を引き締めていきたい。

（田中管理） 中学校関係について、生徒について大きな事案はない。

（種村主事） 八海中の事案を受け、長田 S S W、子若センターと連携し、生徒の心のケアにあたる。2/22 からの三連休を含め、3 年生が卒業し受験が終わるまでを見据えて、面談、相談等を行っていく。

（教育長） 八海中の相談体制について、種村指導主事、長田 S S W、子若センターが連携し緊急対応を行う。学校にとって何が今必要なのか。即対応するという相談体制が取れたことに感謝したい。

質疑なし

日程第 4 **第 9 号議案 南魚沼市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規定の廃止について**

（庶務主幹） 日程 5 ページ、私立幼稚園就園奨励費補助金交付規定の廃止について資料説明。

質疑なし

日程第 5 **第 10 号議案 南魚沼市私立幼稚園運営費等補助金交付要綱の廃止について**

（庶務主幹） 日程 14 ページ、私立幼稚園運営費等補助金交付要綱の廃止について資料説明。

質疑なし

日程第 6 **第 11 号議案 南魚沼市私立幼稚園障害児教育費補助金交付要綱の廃止について**

（庶務主幹） 日程 17 ページ、私立幼稚園障害児教育費補助金交付要綱の廃止について資料説明。

質疑なし

日程第7 **第12号議案 南魚沼市立学校臨時職員住宅費助成事業実施要綱の廃止について**

(庶務主幹) 日程24ページ、学校臨時職員住宅費助成事業実施要綱について資料説明。

質疑なし

日程第8 **第13号議案 令和元年度南魚沼市立学校児童生徒の教育表彰について**

(庶務主幹) 日程12ページ、学校児童生徒の教育表彰について資料説明。

(西野委員) 学校教育の表彰の中で、スポーツ・体育が中心だったことは承知しているが、文化活動の面でも表彰を受けられるような形がとれないだろうか。

(学教課長) 文科系の表彰については、順位付けすることが難しい。県大会で3位以内に入ればという規定になっているため、推薦されない場合があると感じている。

(西野委員) NHKで放送されている合唱コンクールがあるが、新潟県からの参加者が少ない。それが南魚沼市になると、参加しようとする者もいない。地域的な要因があるかもしれない。スポーツだけではなく、文化的なことが好きな児童生徒も半分はいるはず。教育表彰のあり方が、順位付けされていなければ対象にならないのであれば、例えば順位付けできない文科系大会で良い成績を残した児童生徒や、面白い研究をした児童生徒に対しては、校長先生からの特別賞のような制度があってもよいのではないかと。教育基本計画の中でも検討しても良いと考える。

(教 育 長) 教育表彰の中に特別賞などを設け、子どもたちの個性を認め、伸ばし、次に繋がるようにしていきたい。

(種村主事) 基本的に合唱コンクールは学校単位の参加となっている。学校で課外活動や学級音楽をしていない限りは、参加することができない。社会教育の中で音楽活動をしていても、著名な音楽コンクールに参加することはできない。そのため課外活動が先細りしている。合唱コンクールに出場するレベルではなく、参加者も減ってきている。例えば、個人でピアノコンクールに出場した児童生徒もいるはずだが、情報が入らない部分もある。入賞しなくとも、県レベルの大会に参加したことで表彰するなど、基準の緩和があれば頑張ろうとする児童生徒が増えるのではないかと。市を挙げて、文化活動をする子どもたちを応援する体制になってほしい。

(教 育 長) 教育部として重要な意見である。来年度の事業を展開する中で、具体化できるものは少しでも進めていきたい。

日程第9 **第14号議案 就学援助の認定について(1月申請分)および新1年生の就学援助(新入学学用品)の認定について**

(庶務主幹) 資料説明。

質疑なし

日程第10 **第15号議案 特別支援教育就学奨励費の支弁区分の決定について(追加)**

(庶務主幹) 資料説明。

質疑なし

日程第11 **第16号議案 石打地区小学校学区再編検討委員会の「意見書」提出について**

(庶務主幹) 資料説明。

(角谷委員) 統合に向けて進んでいることに良かったと感じる。統合協議が始まり、地域の方々から意見を頂きながら、今後に向けた計画が出来ていくものと考えている。令和4年度には複式学級になる見込みだが、統合は間に合うのか。間に合わない場合の複式学級を避けるような方策はあるのか。考えて行かなければならない。

(学教課長) 令和4年度から新しい小学校を開校するには、令和2年度には統合協議が順調に進み、学校の位置、開校の時期が決まらなければならない。そして、国の交付金を受け、令和3年度に必要な改修工事を行い、令和4年度の4月を迎える流れになる。この流れがどこかで滞ると1年遅れることになる。地域からも、統合までに複式学級が発生したらどうなるのかと心配の声もある。統合協議を行い統合年度が決定したが、統合までの間に複式学級が発生する場合には、市で予算措置を行い、臨時教員を雇用し、複式学級とならないように配慮したい。ただし、統合年度が決定しない状況で複式学級が発生した場合は、統合年度が決定するまで臨時教員を配置してほしいとの要望には応えられない、と検討委員会の中で回答した。

(教 育 長) 意見書を受けて、統合協議会を設置し、統合協議を開始することを決定する。

日程第12 その他

(1) 子ども・若者育成支援センターの相談等状況について(1月分)

(子若センター長) 日程32ページ、1月分相談等状況について資料説明。

(2) 卒業式・入学式の出席について

(庶務主幹) 日程41ページ、卒業式・入学式の出席者について資料説明。

質疑なし

(3) その他

(教 育 長) 次回日程について、3月30日(月)15:00頃から市民会館で行う。第4回教育委員会は、4月22日(水)9:30から市民会館で行う。以上をもって、第2回教育委員会を閉会とする。

15時20分閉議閉会